



長年の栗づくりを称えて

菊池地域農業協同組合から感謝状



おめでとうございます！

この度、合志真一さん（中島）に菊池地域農業協同組合から感謝状が贈られました。合志さんは、43年間、栗部会の会長として、大津町の栗の生産増強と品質向上に努めて来ました。合志さんは「43年間、あっと言う間でした。大津に栗を広められて、みんなが喜んでくれたことが嬉しかったです」と話しました。

(株)スパンドニクスの熊本技術センターが完成

大字新に工場・事務所を新築



あいさつをする長谷社長

9月18日、(株)スパンドニクス（本社埼玉県・長谷昌亮社長）の工場が完成し、開所式が行われました。同社の熊本技術センターは、検査装置の一部を製造する拠点です。2,597㎡の敷地に、325㎡の工場・事務所を建設しました。式では、長谷社長が「九州の戦略拠点として発展させます」とあいさつしました。

歴史と伝統の祭り

大津地蔵祭

8月24日、江戸時代から続く大津地蔵祭が、役場周辺の商店街やオックス駐車場を中心に開催されました。今年は、昨年までの2日間から1日に短縮して昼間の開催となりましたが、約1万5,000人の来場がありました。

オックス駐車場にステージ、出店を設置しての開催となり、ステージでは子どもたちを中心に日頃の成果を十分に発揮した演技などを披露していました。

また、商店街は歩行者天国になり、出店や前衆会による大ビンゴ大会などが開催され、大きな盛り上がりを見せました。

役場前・オックスプラザ内では、万灯会供養、梅の造花、納涼茶席、地蔵ねんどの展示など伝統行事も行われました。

地蔵祭のフィナーレは、六地蔵の山車引きと総踊り（地元企業や金融機関、幼稚園・保育園の園児など約400人）が、歩行者天国を練り歩き、盛り上がった祭となりました。



歩行者天国は家族づれでにぎわいました



子どもから大人まで大盛況！



たくさんの人が参加した総踊り

100分間続いた笑い声

熊日名人寄席

9月17日、町文化ホールで「熊日名人寄席」が行われ、三遊亭楽太郎さんと三遊亭好楽さんが大津町で落語を行いました。三遊亭好楽さんの両親は大津町杉水の出身で、ゆかりのある大津町での公演となりました。「笑点」の話や時事ネタを交えながらの落語に、満員の会場からは笑い声が止まりませんでした。



楽太郎さんと好楽さんの落語話に引き込まれます



途切れることのない笑い声



会場は超満員！

「あんぜんを、やさしく、ときあかし、りかいしていただく」教室が鈴鹿市から

ホンダの交通安全「あやとり教室」



生徒たちは、実験に参加しながら安全を学びました

9月2日、ホンダ安全普及本部の交通安全教室が室小学校和護川小学校で行われました。これは、本田技研工業(株)が鈴鹿市で展開している交通安全教育プログラムを、初めて熊本県で実施したものです。4人の指導員が、交通安全の基本である「止まる」こと「見る」ことを、実験を交えて分かりやすく教えてくれました。

石部運輸倉庫(株)の熊本営業所が完成

大字杉水に倉庫・事務所を新築



完成した倉庫・事務所

9月5日、石部運輸倉庫(株)（本社滋賀県・武田信也社長）の倉庫・事務所が完成し、落成式が行われました。同社は、一般貨物自動車運送事業や倉庫業などを行っている会社で、2,824㎡の敷地に、1,480㎡の倉庫・事務所を建設しました。武田社長は「熊本営業所は九州の物流拠点としたい」と話しました。